

聳然の心都市

深刻化する環境問題や急速なデジタル化。近年、人々の生活様式はめまぐるしい変化の中にあり、それと共に建築物の在り方も移行していかなければならない。

9つの島からなるツバルは、地球温暖化による海面上昇で最初に消滅する国と言われている。そこで、沈むGLに対して都市計画の観点からアプローチを行う。

海面上昇=GLの消失により海面で再定義される2次元的な敷地に対して、垂直方向に大きなボリュームを作り、街としての要素を組み込んでいく。地域住民の新たな生活空間の提供だけでなく、観光資源を挿入することで地域の活性化を計った。

住民の生活の軸と観光業の軸を取り、両者を絡ませる。

2つの軸に都市機能を落とし込む。

街のシンボルとなる形の生成

